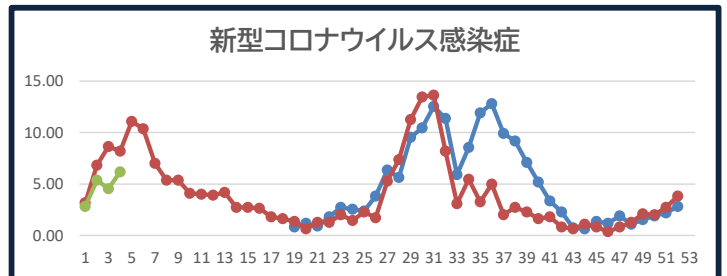
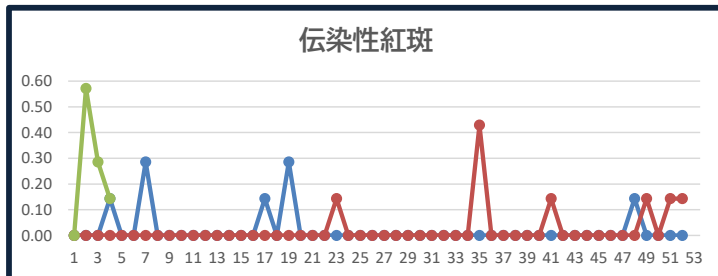
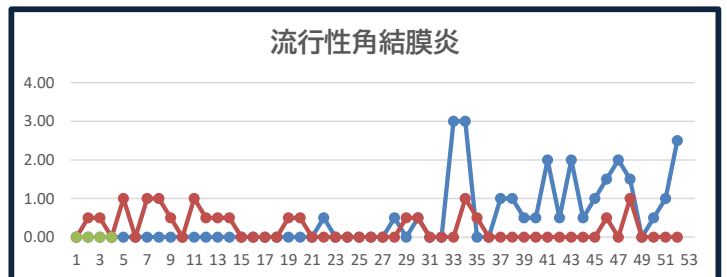
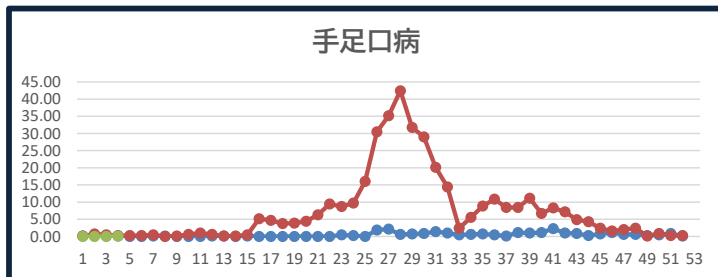
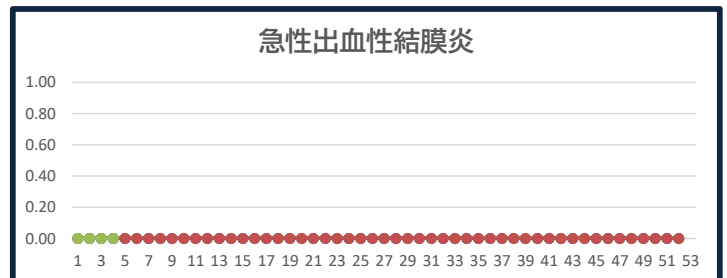
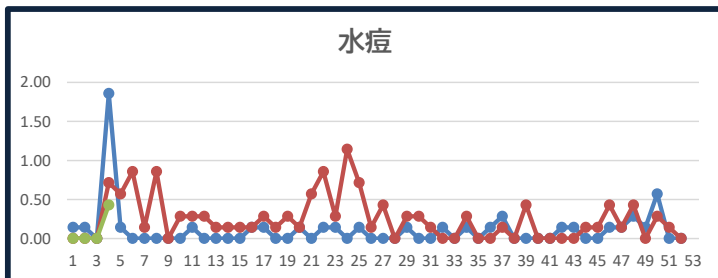
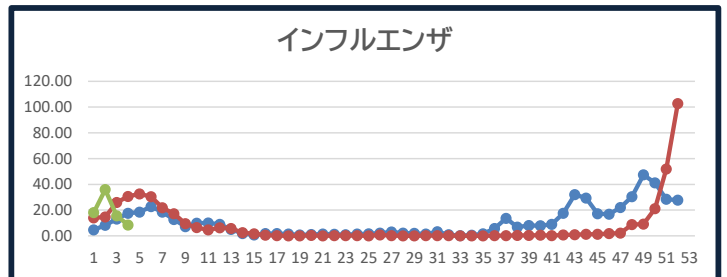
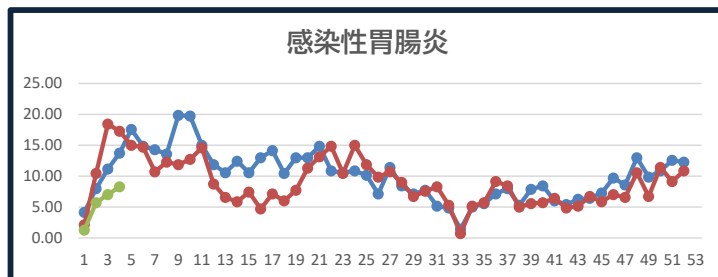
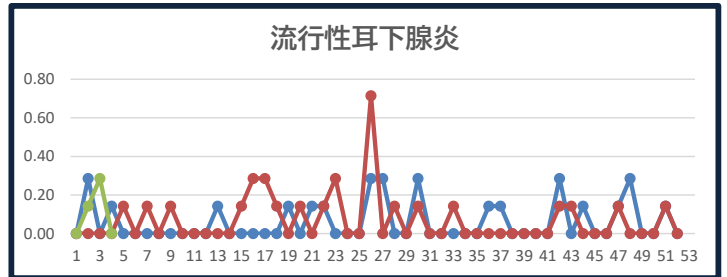
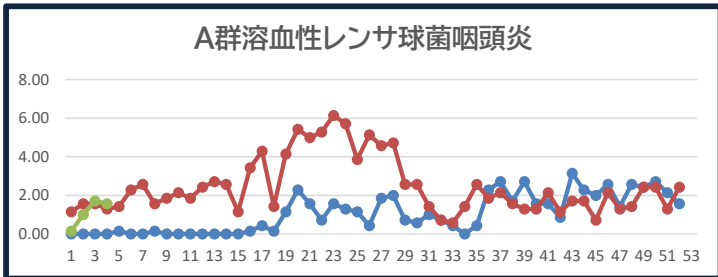
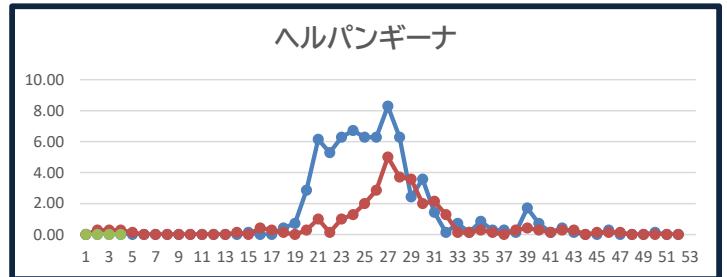
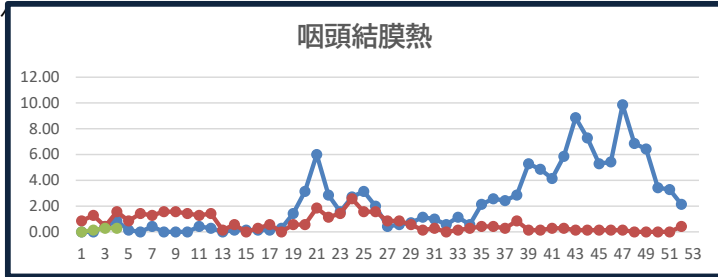
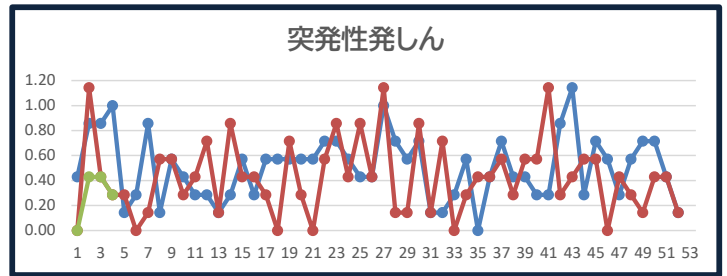
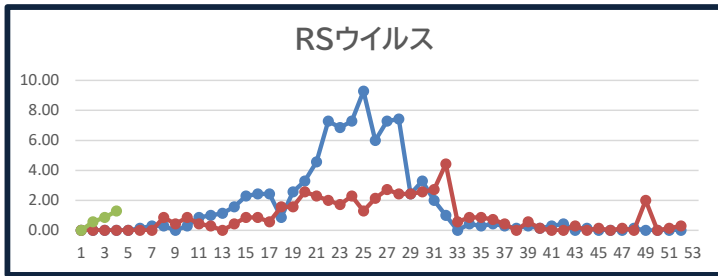


定点把握対象感染症発生状況(グラフ/過去3年間)

2023年 2024年 2025年



冬季は要注意！

ノロウイルス 対策

特徴

- 10月頃から流行し、冬季がピーク
- 感染力が強く、集団発生を起こしやすい
- 主な症状は下痢、腹痛、嘔吐



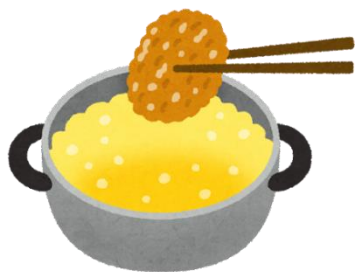
手洗い

- ①外出から戻った時
- ②トイレの後
- ③食品・食材などを取り扱う時
など、こまめに手を洗う
(2度洗いが効果的です)



加熱

食品の中心部が
85℃～90℃で90秒以上



洗浄・消毒

中性洗剤で洗浄
次亜塩素酸ナトリウム
希釈液に漬け置き消毒



主な症状



腹痛



下痢



嘔吐

〇症状がある時に気をつけることは？

1. 早めに受診しましょう

※下痢止めの薬は回復を遅らせる場合があります

2. 手ふきタオルやバスタオルの共用は避けましょう

3. 下痢、嘔吐等の症状がある場合は調理を控えましょう

4. 入浴は最後にするかシャワー浴にしましょう

入浴後はしっかり掃除し換気しましょう

5. プールや公衆浴場などの利用はしばらく控えましょう

6. 症状が消えた後も便にはウイルスが2週間以上排出されます。※0.1%次亜塩素酸ナトリウムでこまめに消毒してください

吐物処理手順

- 

1 吐物から半径2m
汚染区域
清潔区域
汚染区域と清潔区域を意識
- 

2 応援を求め、部屋を換気
近くの人を移動させる
- 

3 準備した物品を確認してから作業開始
- 

4 消毒液をかけた紙
汚染区域 清潔区域
靴底を拭くため、嘔吐物は消毒紙を踏んで移動させる
- 

5 手袋2重
マスク・ガウン・シューズカバー・手袋2重を着用、ゴミ袋を2重
- 

6 汚染区域内
ウイルスが飛散しないように
吐物を覆い消毒液をかける
- 

7 汚染区域内
吐物をビニール袋に入れる
- 

8 汚染区域内
ヘラでかき集めヘラごと捨てる
- 

9 10分間待つ
汚染区域内
新しい紙で再度吐物周辺を覆い、消毒液をかける
- 

10 汚染区域の境界に紙を敷き詰め消毒液をかける
- 

11 清潔区域
汚染区域
シューズカバーを外して清潔区域に出る
- 

12 清潔区域
汚染区域
外側から中心に向かって往復せず一方方向に寄せ消毒
- 

13 消毒で使用した紙類を内側の袋に入れる
- 

14 残った消毒液を袋内にかき、ペットボトルと外側の手袋をゴミ袋へ
- 

15 内側のゴミ袋をしぼる
空気を抜かない
- 

16 手袋→ガウン→マスクの順で外す
- 

17 空気を抜かない
脱いだものを入れて、外側のゴミ袋を縛る
- 

18 最後に20秒以上かけてしっかり手洗い・うがいをする

※消毒液:0.1%程度に希釈した次亜塩素酸ナトリウム

次亜塩素酸ナトリウム含む

家庭用塩素系漂白剤を使った 消毒液の作り方



水500mlに

漂白剤(濃度5%タイプ)を

5ml (ペットボトルの **1杯** or **2杯** キャップ)



※ 作るときは換気をして、ゴム手袋をはめてください。

製品に記載された「使用上の注意」を読んでから作業を。

どんなところに使えるの？

○ **1杯**: ドアノブ、テーブルなど、手がよく触れる場所



○ **2杯**: 吐物や便などがついた床、衣類など



使用方法は？

ペーパータオルに液を染み込ませ拭いた後、**水拭きをする**

※ 使用時も、換気をしてゴム手袋をはめてください



○ 拭き取り



× 噴霧